

委員会の動き

総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、予算関係では、平成15年度八潮市一般会計補正予算（第8号）及び平成15年度八潮市一般会計予算、条例関係では、八潮市入学準備金貸付条例及び八潮市教育資金貸付条例の一部を改正する条例についてなど、あわせて7議案の審査を行いました。

平成15年度八潮市一般会計補正予算では、「ごみ収集運搬委託料の増額の理由について」の質疑に対し、「820世帯の増と平成16年度から行う祝祭日収集分も含んでいるため」との答弁がありました。そのほか、学校給食費自己負担金（滞納繰越分）について、なぜ滞納をしているのか、滞納している人の状況を調査しているのかなどについて質疑がありました。

平成16年度八潮市一般会計予算では、「固定資産税の現年課税分家屋を収入増と見込んでいるが、どのくらい見込んでいるのか」との質疑に対し、「新築増築分を551棟で見込んでいる」との答弁がありました。

八潮市入学準備金貸付条例及び八潮市教育資金貸付条例の一部を改正する条例については、専修学校にも適用するということだが文部科学省の認定を受けていない専門学校もあるので問題はなかなどの質疑がありました。

議案の審査結果については、7議案すべて可決すべきものと

建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、平成15年度八潮市一般会計補正予算（第8号）など補正予算関係7議案、平成16年度一般会計予算など予算関係9議案のほか、市道路線の認定についてなどあわせて18議案の審査を行いました。

平成15年度八潮市一般会計補正予算（第8号）関連で、「県施行街路事業負担金の減額理由について」の質疑に対し、「減額理由としては、埼玉県で施行している都市計画街路3路線（草加彦成線、西新2号線及び草加三郷線）の全体事業費が減少したことによる。全体事業費の5分の1を八潮市が負担している。したがって、負担金も全体事業費が減額したことにより、減額補正となる」との答弁がありました。

平成16年度八潮市一般会計予算関連で「歩道段差解消整備工事費の中で、今年度は何箇所を予定しているのか。また、全体の何パーセントが完了しているのか」の質疑に対し、「平成16年度としては、いちよう通り10箇所を予定している。整備の完了した率は、71・6パーセント」との答弁がありました。

議案の審査結果については、18議案すべて可決すべきものとなりました。

民経消防常任委員会

委員会に付託された議案につ

なりました。

いは、平成16年度八潮市一般会計予算など、予算関係6議案、八潮市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例についてなど、あわせて13議案、また、請願第2号「八條小学校・八條北小学校区に学童保育設置を求める請願書」の審査を行いました。

請願について執行部に説明を求め、慎重に審査いたしました。意見として「担当部局だけでなく教育委員会と相談し、早急につくしんば学童の状況緩和を考へ、八條小学校区の学童保育施設を次世代育成行動計画に位置付け、最優先課題として取り組むということ、この請願に賛成し採択したいと思う」との発言があり、会議に諮ったところ、採択すべきものと決しました。

八潮市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例については、意見として「県の補助金が廃止になるが、必要などころには必要対策をとらなければいけない。松伏町も全額補助に戻した。本市もここで2分の1にするのではなく、このまま継続していただきたいので反対する」との発言がありました。

八潮市ねたきり老人等手当支給条例を廃止する条例については、意見として「福祉とは、単にお金をばらまくことではなく、本当に必要なサービスを広げていくというのが行政の役割だと思ふ。枚方市では、平成6年度ぐらいから手当を廃止し、その分、高齢者サービスや施設拡充などに使用。本市の財政状

況は悪く、他のサービスに振り分けられないのが残念であるが、福祉のあるべき方向は、お金をばらまくことではないと思うので賛成する」また、別の意見として「高齢者福祉のほんの一部が介護保険制度であり、介護保険では賄えない部分がある。ねたきり老人手当がばらまきか、ばらまきでないかに関しては、それぞれ意見があると思う。各手当がカットされ、他の福祉サービスを開始するなら問題ないが、第一の理由は財政情勢が厳しいため、県の補助金がなくなったので『これも半分』に『これも止めよう』という市の施策は、あまりにも弱者にしわ寄せがいきすぎるので反対する」との発言がありました。

議会運営委員会

委員会に付託された請願として、「市町村合併の問題を検討する特別委員会の設置に関する請願書」の審査を行いました。

請願書の審査では、意見として、「合併問題は、非常に大きな問題であると認識している。度々、議会でも、執行部は、行政、市民にとっても大切な問題だから慎重にと話をされている。その立場から、市議会も全会派が合併問題に対しての認識を共有し合うため、合併問題研究会を発足させた。今、合併問題が基本的な市民にとってどういものなのかを議員個人で勉強すると同時に、全議員が同じ認識

に到達するための勉強会が必要である。合併問題研究会をもつと実のあるものにする努力が求められており、この請願については、趣旨採択にしたい」また、別の意見として「合併問題研究会は、今まで一方的に説明を受けてきた。市民の皆様は、合併問題に非常に関心を持っていて。いざ、合併は避けて通れない問題であるが、メリット、デメリットがあるので合併するまでには非常に時間がかかる。そこで、市議会は、特別委員会を設置し、更に一歩進めて慎重に審議をしていくことが良いと考え採択したい」との発言がありました。会議に諮ったところ、採択すべきものと決しました。

に到達するための勉強会が必要である。合併問題研究会をもつと実のあるものにする努力が求められており、この請願については、趣旨採択にしたい」また、別の意見として「合併問題研究会は、今まで一方的に説明を受けてきた。市民の皆様は、合併問題に非常に関心を持っていて。いざ、合併は避けて通れない問題であるが、メリット、デメリットがあるので合併するまでには非常に時間がかかる。そこで、市議会は、特別委員会を設置し、更に一歩進めて慎重に審議をしていくことが良いと考え採択したい」との発言がありました。会議に諮ったところ、採択すべきものと決しました。

つくばエクスプレス沿線整備特別委員会の開催

平成16年3月2日、つくばエクスプレス沿線整備特別委員会が開かれ、つくばエクスプレス及び八潮南部地区の整備状況等について執行部から説明を受け、質疑を行いました。

陳情

農地等に係る固定資産評価額の適正化に関する陳情
JAさいかつ八潮地区農家組合長 小倉重治
副会長 小櫃栄寿
副会長 飯山謹一郎
他 農家組合長一同

編集後記

議会報編集委員会から



■市の花 くちなし

3月議会は予算審議が行われ、より一層の緊張感を持って議会に臨みました。終わって、ふと気が付くと季節は春、心地好い風の中、満開になった桜を眺めながら市の花「くちなし」を思い浮かべました。6月頃に咲き白い花と甘い香りです。有名ですが、日本には数少ない香りの強い花です。実は赤く、昔から料理や漢方薬として使われて来たのは「存じ」でしょうか。花言葉は「喜びを運ぶ」「洗練」です。
くちなしの花言葉のように、「市民の皆さまが住んで良かった」と喜んでいただける、豊かな自然環境と共生し、活気あふれるまちづくりを進めてまいりたいと考えています。
(瀬戸 知英子)

「やしお市議会だより」は、新聞折り込みでお届けしています。市役所または、お近くの公共施設などでもお受け取りになれます。